

「ソ」縣軍戰二件、處置トシテ

陸軍意見決定

大臣、組長

周部長會談

最高戰時指揮部

關
錢

御前

決意開明

「プログラム」作製上申ス

第一聯ノ宣戰布告ニ伴ヒ帝國ノ採ルヘキ態度案トシテ別紙

作
與
事
者
別
於
略

陸軍

「ソ」ノ参戦ニ伴フ戦争指導大綱（案）

昭和ニマヘル

方針

帝國ハ「ソ」ノ参戦ニ拘ラス依然戦争ヲ繼續シテ大東亞戦争ノ目的完遂ニ邁進ス

要領

「ソ」聯ニ對シテハ直戰ヲ布告セサルモ自衛ノ爲斷々迄交戦ス
 「ソ」聯若ハ中立國ヲ利用シテ好機ニ乘シ戦争終結ニ努力ス
 但シ皇室ヲ中心トスル國體維護及國家ノ獨立ヲ維持スルヲ最
 少限度トシ當分對「ソ」交渉ヲ繼續ス

國民ヲシテ大和民族悠久ノ大義ニ生タル如ク重大決意ヲ促スモ

ノトス（紹勅）

同速カニ國內ニ戒嚴ヲ施行ス

2-4

0405

陸軍

出席者 構成員ノミ（總理、鐵海軍大臣、參謀總長、軍令部

總長、外務大臣、六名、

十三時三十分終了（豫定より一時間半延長）

論議中スル決定ニ至ラズ閣議ニ譲リシモノ如シ

井代綜合計盤局參事官白井中佐、長官、命二依り軍務局長、許二

來訪、總理、陸軍、外務大臣（最顯議出席者）不在中、閣

條々書記官長等ノ氣分ヲ披露ス即チ對「ソ」見附シテ誤リタ

ル貨ニ對リ紐辭職ス
キアリ
三眼等ニハ勝テヌ
二統帥部

ノ作戰ニ關スル見遊シヲ軍ニ尋ネンク
トノ空氣ナル由ニテ竹

下中佐ハ局長ノ命ニ依リ、官内省最高戦争指導會議室ニ至リ、大

臣、總長ニ右ノ空氣ヲ傳達願フ、參考ニ供セリ。

引子
第一回
第二回
第三回
第四回
第五回
第六回
第七回
第八回
第九回
第十回
第十一回
第十二回
第十三回
第十四回
第十五回
第十六回
第十七回
第十八回
第十九回
第二十回
第二十一回
第二十二回
第二十三回
第二十四回
第二十五回
第二十六回
第二十七回
第二十八回
第二十九回
第三十回
第三十一回
第三十二回
第三十三回
第三十四回
第三十五回
第三十六回
第三十七回
第三十八回
第三十九回
第四十回
第四十一回
第四十二回
第四十三回
第四十四回
第四十五回
第四十六回
第四十七回
第四十八回
第四十九回
第五十回

~~二~~再~~三~~三~~四~~了~~五~~前~~六~~後~~七~~實~~八~~二~~九~~時~~十~~間~~十一~~二~~十二~~及~~十三~~上~~十四~~送~~十五~~決~~十六~~定~~十七~~了~~十八~~見

力圖以國力

THE UNIVERSITY OF CHICAGO PRESS

54.

八月九日 金曜

2-5

0406

六軍事務會議官會同一八二〇ヨリ開催 東久通 朝香 杉山 士

肥原 梅津各將軍參集セラル

七今後ノ準備ノ為内政班ハ班長竹下中佐ヘ全般及暇中指導輔佐

浴中佐班業務統轄、相崎、堀中政變對照、江口中佐宣傳情報

田島少佐戒嚴法規、白木少佐臨時分擔ヲ定メニ〇〇〇

ヨリ班内會報ヲ開ケル

八加藤大佐ハ午後東條大將ニ情況ヲ報告ス

小磯大將ハ所在不明ナル

2-7

0408